

IMAGINE ROTARY

2022-23年度 RI会長／ジェニファー・ジョーンズ
RI.D2590ガバナー／志村 雄治
横浜旭RC会長／安藤 公一

「想像してください、私たちがベストを尽くせる世界を。
私たちは毎朝目覚めるとき、その世界に変化をもたらせると知っています。」

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川相鉄ライフ 4Fコミュニティサロン
例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜市幼稚園協会へエコペーパー石鹸配布



ガールスカウトとクリーン作戦



鎌倉・江の島へ親睦旅行

2022年10月26日 第2482回例会 VOL.54 No.15

■司 会 親睦 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 安藤 公一

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	17名
本日の出席率	85.00%	修正出席率	75.00%

■本日の欠席者／東谷、中谷

■オンライン出席者／宋、福村

■ゲスト

伊藤朋子様・藤枝香織様

(NPO 法人かながわ 311 ネットワーク)

■会長報告 安藤 公一

本日は、災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ、NPO 法人かながわ 311 ネットワークの伊藤様と藤枝様にお出で頂き地域防災ネットワークに関しお話を頂けることになっています。東日本大震災以降に当クラブに発足した災害対策委員会との有意義な連携を育成できるものと確信しております。お話が楽しみです。

昨日は寒かったです。11月下旬か12月上旬の陽気だったようです。富士山もこの2-3日ですっかり雪化粧となり、日毎に秋の深まりを感じます。つい先週の金曜日に秦野でゴルフした際には富士山には雪の「ゆ」の字も全くなかつ

たのに僅かこの2日間で5合目付近まで雪に覆われてしまいました、自然の力の大きさを実感します。一日の寒暖差が10℃を越えると健康管理になお一層の注意が必要となってきます。明日朝は10℃以下まで冷え込み昼は20℃近くまで上がる予報です。今更ながら新型コロナも含め体調の管理に気を付けていきたいと思えます。

昨今の話題としては、野田元首相の安倍元首相への追悼演説はすばらしいものだと感じました。ロータリークラブでは政治と宗教には関わらないという原則があるので政治には触れませんが、好敵手としてお互いに敬意を持ちながら正々堂々と対決してきた姿は政治のみならずスポーツやその他全てのことに通じるものだと改めて実感しました。全身全霊を賭けて準備し対決する姿勢、相手も同様に準備して向かってくるために努力していることを認めることでそこに敬意が生まれてきます。

プロ野球では日本シリーズが始まり、今のところヤクルトが2勝1分けでリードしています。オリックスの巻き返しがあるのか楽しみです。今週日曜日に最終日を迎えた男子ゴルフ日本オープンでは大学4年の蟬川泰果選手が実に

95年ぶりのアマチュア優勝を飾りました。彼は9月のパナソニックオープンにも優勝しており、11月にもプロ転向が予想されています。松山選手の大学の後輩で、名前通り、タイガーウッズに憧れているようです。今後の活躍に期待します。

期待していたラグビー女子ワールドカップで日本は残念ながらカナダ、米国、イタリアに連敗しベスト8進出はなりません。一方男子は、今週土曜日に国立競技場でニュージーランド・オールブラックスとテストマッチを行います。次戦米国戦も惜しくも逆転負けとなりベスト8進出はかなり厳しい状況です。23日のイタリアには気持ちよく勝って欲しいものです。一方の男子は豪州代表候補との第3戦に臨み何とか勝利をすることができました。29日にはニュージーランド代表オールブラックスとのテストマッチです。14:50のキックオフ、地上波日テレで14:30より放送があります。チケットは既に完売と聞いています。テレビで応援してください。

▷地区関係

1) 11月11日-12日開催の地区大会です。9日の例会が12日へ移動となりますので、お間違いの無きようお願いいたします。

2) 10月23日(日)の「世界ポリオデー」イベントにご参加された方お疲れ様でした。

3) 財団奨学生の募集開始のお知らせがきました。グローバル、地区共に応募期間は10/31~来年1/23となっています。

▷クラブ関係

4) 第5グループ佐藤ガバナー補佐より、今後のガバナー補佐の順番に関する合意書がきました。当クラブは2030-31年度の担当となり後8年後になります。

5) 以前お話した畠山重忠関連の研究が続けられている旭区在住の加藤明彦様より「横浜の発展」~黒船と鉄道~という題の講演を万騎が原ケアプラザで11月10日(木)10時~11時半に開催するので、ご興味ある方は如何ですかとい

うご案内を頂きました。ご興味のある方は、万騎が原地域ケアプラザ 045-362-1222 までお申し込みください。

■幹事報告

新川 尚

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜田園 RC

11月22日(火) 山内中学職業講演会

11月29日(火) 休会

○横浜南 RC

11月5日(土) 休会

○横浜港南台 RC

11月11日(金)→12日(土)

11月25日(金) 夜間例会

■ニコニコ BOX

安藤 公一/災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわの伊藤様藤枝様ようこそ当クラブへおいで頂きました。宜しく願い致します。

新川 尚/みんな共同代表伊藤様、事務局藤枝様、本日は宜しく願い致します。

内田 敏/NPOの伊藤様、藤枝様、本日はよろしく願いいたします。

北澤 正浩/伊藤朋子様、藤枝香織様、本日はようこそおいでくださいました。卓話をよろしく願いいたします。

岡田 隆/みんな共同代表伊藤様、事務局藤枝様、本日の卓話楽しみにしています。宜しく願い致します。

田川 富男/伊藤朋子様、旭ロータリーによる。本日の卓話よろしく願い致します。

佐藤 利明・真吾/かながわ311ネットワーク伊藤様、藤枝様ようこそ。卓話よろしく願い致します。

田川 富男/伊藤朋子様旭ロータリーによる。本日の卓話よろしく願い致します。

関口 大樹/伊藤様、藤枝様、本日の卓話よろしく願い致します。

五十嵐 正/NPOの伊藤様、藤枝様、本日はようこそいらっしゃいました。卓話よろしく願い致します。

■卓話災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ（通称みんな）のご紹介

伊藤朋子様

災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ共同代表

／認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク代表理事



2016年5月より、NPO法人を中心に会議を開催。「火の国会議」直近では、1月19日開催で、350回となっている。

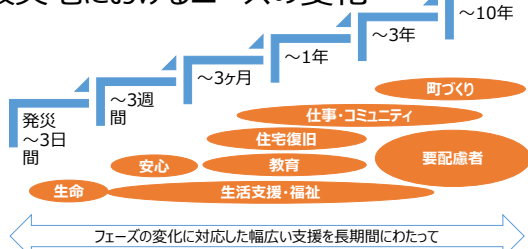


※全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）準備会による分類より
協力：100団体以上 NPO法人：45団体 公益法人、一般社団法人、株式会社、任意団体

民間活動のネットワーク

- 炊き出し・食事提供
- 避難所活動
- がれき撤去、家屋清掃
- 物資配布
- 医療・レスキュー
- 障がい者、要援護者支援
- 子ども支援
- 外国人支援
- ボランティアセンター支援
- 団体間コーディネート
- 調査、アセスメント

被災地におけるニーズの変化



消防・警察 自衛隊	避難所 災害ボランティアセンター災害対策本部	仮設・みなし仮設 助け合い支援センター 復興庁・各部署	復興住宅 要配慮者支援 町づくり
支援団体情報共有会議			

支援体制の進化

2016年熊本地震 2018年西日本豪雨

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）準備会

- 多様な支援組織による支援体制の必要性
- 支援カテゴリーの充実



- 炊き出し・食事提供
- 避難所活動
- がれき撤去、家屋清掃
- 物資配布
- 医療・レスキュー
- 障がい者、要援護者支援
- 子ども支援
- 外国人支援
- ボランティアセンター支援
- 団体間コーディネート
- 調査、アセスメント

←岡山情報共有会議の様子（2018/08/01）

三者連携による情報共有会議（内閣府）

「防災における行政のNPO・ボランティア等との連携・協働ガイドブック～三者連携を目指して～」公表 2018年

4月

- 行政・NPO・ボランティアの三者連携を目指して各地域での事前の枠組み作りの必要性

「情報共有会議」と「中間支援組織」

- 「災害情報ハブ」で災害情報を「見える化」

- 「協働」による帰宅困難者対応

- 「災害から事業を守る」「防災経済」

企業による社会貢献としての被災地支援

- 支援P（災害ボランティア活動支援プロジェクト会議）2008年設立

→企業・社会福祉協議会・NPO・共同募金会が協働するネットワーク組織

- （一社）日本経済団体連合会社会貢献推進委員会（1%クラブ）

→東日本大震災における経済界の被災者・被災地支援活動に関する報告書

—経済界による共助の取り組み— 2012年3月より抜粋

今回の支援活動を通じて浮き彫りになった諸課題

- (1) 義援金や支援金を巡る諸課題
- (2) 救援物資の支給を巡る諸課題
- (3) ボランティアの派遣に係る諸課題

今後の検討課題→NPO/NGOという言葉が38か所登場している。

(1) 復興期における被災者・被災地支援活動の課題

(2) 大規模自然災害に備えた今後の課題

JVOADの立ち上げ理念と構成員

全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）の理念
～多様なセクターが連携し、支援の漏れ・抜け・落ち・ムラをなくす



2016年10月NPO法人化認証（東京都）
代表理事・栗田裕之／事務局長・明城聖也／専従スタッフ7名

災害ボランティアの変遷 栗田裕之 から<https://www.pref.gifu.lg.jp/kodomo/tiki-fukushi-sonota/tiki-fukushi/11219/saigai-volunteer.data/02jvoad.pdf>

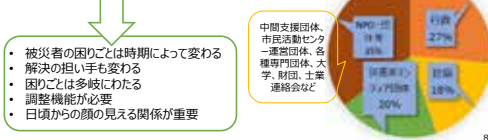
災害時における三者連携・協議に向けた研修会

2019年12月3日 かながわ県民センターで開催 主催 内閣府
共催 神奈川県、神奈川県社会福祉協議会

プログラム

- 1.内閣府から「近年の災害ボランティアをめぐる動き」
- 2.パネルディスカッション「応急期、復旧復興期における被災者ニーズと三者連携の現状」
- 3.神奈川県取組状況
- 4.グループに分かれてのワークショップ

発災後1ヶ月目、4ヶ月目の困りごとと解決について



- 被災者の困りごとは時期によって変わる
- 解決の担い手も変わる
- 困りごとは多岐にわたる
- 調整機能が必要
- 日頃からの顔の見える関係が重要

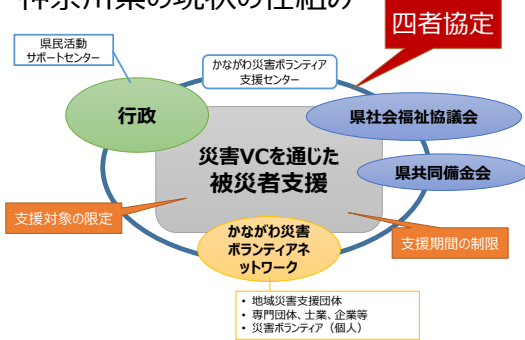
内閣府主催 「官民の被災者支援主体間の連携推進のための中核人材育成研修会」

- 県災害救援ボランティア支援センター 1名
- 県災害対策課 1名
- 県社会福祉協議会 1名
- 災害ボランティア団体 1名
- 中間支援組織 2名
- 市町村 5名



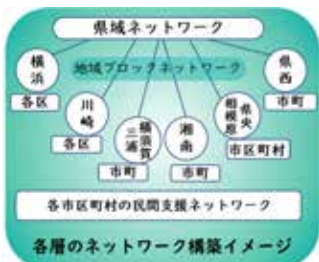
三回連続研修第1回は2020年11月6日(金)開催 ↑研修資料の一部
官民の多様な被災者支援主体間の連携促進のための中核人材育成研修会
タイトル：行政による被災者支援災害対応～復旧・復興にかけて
講師：兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本真由美氏

神奈川県の現状の仕組み



地域、市町域、県域の連携体制に向けて

- 900万人を超える人々が暮らす神奈川県で有効な被災者支援を行うためには、県域のネットワークだけでは有効な被災者支援を行えません。
- 地域・避難所・自治会レベル、市町村区域レベル、県央、県西、政令市などのブロック、そして県域まで、積み重ね、補い合う支援体制を作ることが必要です。

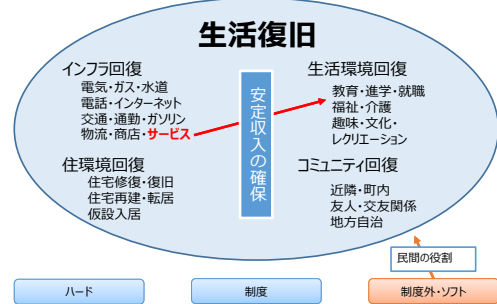


要援護者の課題

- 通常の避難施設では生活が困難
 - ・ 集団行動の困難、健康者からの理解不足
 - ・ 必要資材、医療品、支援人材の不足
 - ・ 一般避難者への遠慮
- 自宅では通常時の支援が受けられない
 - 介護・支援サービスインフラの崩壊
 - 保護者の日常生活への支障 (日中の居場所)
- 二次避難所、支援施設の課題
 - ・ 通常の利用者で無い為、適切な対応が困難
 - ・ 事前把握の方法、フェースシートの一括管理等が必要
 - ・ 絶対的な人員不足、スペース不足

行政や社協、避難所運営委員会、町内会 (住民の互助) だけでは解決できない多くの問題が発生する

日常生活への復旧



Q.地震や台風などで地域に甚大な被害が生じたとき、どのような支援を地域に提供できるとお考えですか？



その他回答
傾聴活動、メンタルヘルスケア、整体、井戸による飲料水の提供...



■次週卓話 11/9 (水)→ 12 (土)地区大会へ移動